

○「農業懇談会 農地を守る話し合いが必要」

(京都府宮津市 府中地区連絡会議)(平成31年度第2回)

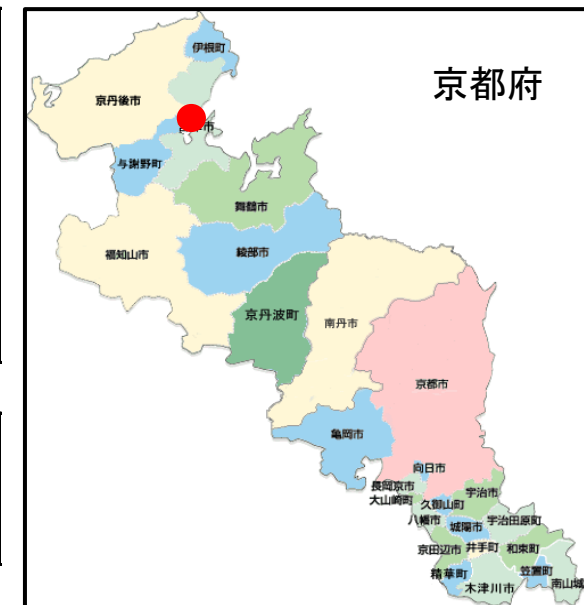
担い手への
農地利用の
集積・集約化遊休農地の
発生防止・
解消新規参入の
促進その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和元年7月17日(水) 19:00~21:30
- 場 所: 宮津市府中集会所
- 出席者: 農業委員2人
協力員6人、市1人、事務局2人
委員2人、委員以外9人
- 報告者: 増田 英雄 農業会議現地推進役

2 地区の特徴、状況、課題

- 府中地区;農振地域の無い集落あり。府中農産物直売組合(7人)が直売所・小中学校に食材納入
- 国分・溝尻地区;京カプラン策定済み。農地中間管理事業を取組中。海水流入で嵩上げが必要な農地あり
- 東部地区;農業専従者はいない。漁家が家庭菜園として栽培。農振外地域で成り行きまかせの状況



3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 農業懇談会 西部地区 耕作放棄地対策、担い手対策、農振区域拡大
- 東部地区 耕作放棄地対策、担い手対策、今後の営農体制

特徴的な意見 次世代のために何を守るのか

課題対応のため、具体的アンケートを実施

※農振地域の有無が地域に混在しているため、話し合いや活動の取り組みの障害になっているが、
農地を守る話し合いが必要となっているので、活動につながることを期待される

- 利用状況調査(農業委員会事務局から説明)

4 活動結果

- 情報・意見交換 **2.5** 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援